

マダガスカル通信

2023年3月1日



【プロフィール】

名前：道官丈晴

出身：香川県三木町

隊次：2022年度1次隊（2022/7～2024/3）

職種：コミュニティ開発

任地：ソアヴィナンジーナ(首都から西へ140km)

活動内容：

大学の分校にあたる高等学院に勤務し、学生や農村住民を対象に日本の生活改善活動について普及するとともに日本の文化等について紹介する。

Manao ahoana! (マナオーナ!)

Manao ahoana! みなさん、はじめまして。道官丈晴といいます。現在、私はJICA海外協力隊としてマダガスカルで活動しています。香川県の三木町役場に勤務する地方公務員で、現職参加しています。どうぞよろしくお願ひします。冒頭で書いた「Manao ahoana」は、マダガスカル語で「こんにちは」という意味です。



マダガスカルの公用語はマダガスカル語とフランス語ですが、日常のあいさつでは「Manao ahoana」がとてもよく使われます。2022年7月にマダガスカルへ来て、あっという間に半年が過ぎました。半年も過ぎると停電と断水を繰り返す不便な生活にも慣れ、たくさんの驚きや発見が見えてきました。ここマダガスカルでのおもしろい発見や魅力について紹介したいと思います。

マダガスカルってどんな国？



面積：587,295平方キロメートル（日本より大きい！）

人口：約2,843万人（2021年）

首都：アンタナナリボ

民族：アフリカ大陸系、マレー系、部族は約18

公用語：マダガスカル語、フランス語

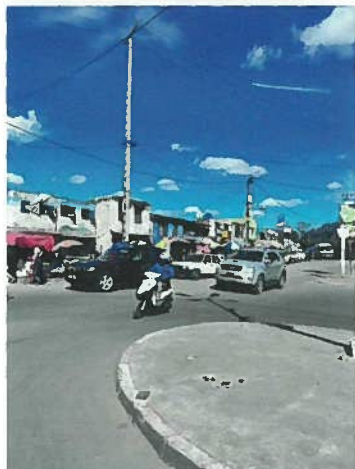
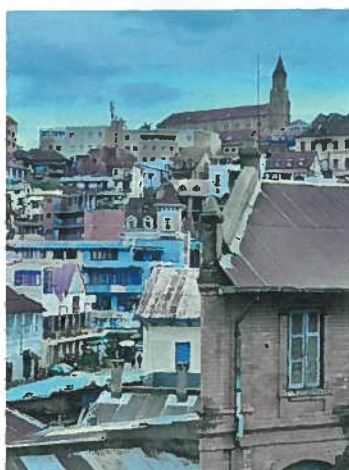
宗教：キリスト教、伝統宗教、イスラム教

通貨：アリアリ (Ariary) | アリアリ=約0.03円



アフリカ大陸の東側に位置する世界で4番目に大きな島マダガスカル。到着の際、飛行機から見下ろすと一面に赤い大地が広がっていました。

初上陸のアフリカに緊張しましたが、どことなくアジアの雰囲気も漂う不思議な感じがしました。かつてフランスに統治されていたので、公用語として学校でフランス語を学び、日常生活でもラジオやテレビ、商品の値段や電話番号を伝えるときの数字などでフランス語を聞くことが多いです。首都を含め、国土の大部分が標高1,000メートルを超える高地に位置しており、暑いアフリカのイメージとは違って、私の任地でも夜に布団をしっかりと被らないと寒くて寝ることができません。





また、マダガスカルに生息する約80%もの動植物が「固有種」であると言われており、巨大なバオバブの木をはじめ、たくさんの種類のキツネザルやカメレオンなどが生息しています。その一方で、マダガスカルは最貧国の一つと言われており、国民の約80%が一日1.9ドル以下で暮らしています。



日本とよく似ている？

ここまでの説明を見ると、日本と全く違う国のようですが、実は似ているところもたくさんある国です。マダガスカルでは、インドネシアやマレーシアなどの東南アジアの島しょ部から渡ってきた民族とアフリカ人の血が混ざり、アジア人のような顔つきの小柄な体型の人をよく見かけます。控えめな人（意見をはっきり言わない）も多く、日本と似ているなあと思うことが多々あります。



また、マダガスカルも日本と同じくお米が主食で、毎日お米を食べます。マダガスカル語で米はVary（ヴァリ）、おかずをLoka（ロカ）と言いますが、典型的な食卓を「たくさんのお米（ヴァリ）にちょっとのおかず（ロカ）」と表現し、びっくりするほどの山盛り白飯が出てきます。子どもや女性を問わずマダガスカル人がお米を食べる量にいつも驚かされます。なんとマダガスカルのお米の消費量は日本の約2.5倍だそうです。一方で、おかずの材料は値段が高いため、たくさん食べられないという事情もあるのだと思います。

